

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36449
事業名	都心のみどり推進費					
評価担当課	所 属	建)みどりの推 みどりの管理課			電話番号	011-211-2522
施策名	「都心」では、民間投資が活発化し、新しい時代にふさわしい高次					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	都心部の緑被率は市街化区域平均と比べて低く、公共施設・民間施設の緑化が不足している。フラワーコンテナによる公有地の緑化、助成制度の運用による民有地の緑化を推進してきたが、依然としてみどりが少ない状況である。
	事業内容(何を実施し)	(1)都心部におけるおもてなし緑化の取組 市民や企業との協働のもと、札幌の顔である都心部において、フラワーコンテナやハンギングによるみどり ①市役所本庁舎外構、②さっぽろ創世スクエア周辺、③大通界限、④札幌駅南口駅前広場、⑤札幌駅前通 (2)さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度 事業者との協働による民有地緑化を推進するための民有地緑化への助成 ・助成箇所数5箇所(①ブランズタワー札幌大通公園、②南里ビル、③札幌狸小路5丁目PJ緑化工事、④KAGAプロジェクト新築工事、⑤仮称)札幌すすきの駅前複合開発計画新築工事のうち緑化工事)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	フラワーコンテナによる公有地の緑化、助成制度の運用による民有地の緑化を推進するとともに、市民ボランティア・沿道企業と協働したフラワーコンテナによるみどりづくりを生かしつつ、エリマネ団体等が有する既存の景観まちづくり活動等との連携による緑化空間を創出していく。
	他都市の状況	多くの都市において、民有地緑化を促進するための助成制度がある(令和6年8月現在、札幌市を含む政令市20市中13市にて実施)。 ・公開性のある緑空間の創出支援事業(横浜市)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	6,460 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	44,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.8 人工
令和5年度決算額	43,693 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.8 人工
令和6年度予算額	44,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	2 人工

指標	アウトプット活動指標1	みどり空間の創出箇所数(箇所)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3	3	3	3	3	3
	↓						
	アウトカム成果指標1	都心部でみどり空間の創出に新たに取組んだ企業数(累計)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		5	7	7	15	17	19
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標・成果指標ともに達成した。引き続き、各指標の達成に向けて取組む。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	令和6年3月に助成制度の要綱を改正し、制度の運用を図る。民有地緑化(グリーンインフラ)の整備を国が支援する補助事業の活用及び活用を促進するためのパンフレットを作成する。
来年度以降の方向性	助成制度及び民有地緑化(グリーンインフラ)の国の補助事業をPRするため、制度の概要について市内約500社へダイレクトメールの発送、報道機関へのプレスリリース等の広報活動を行う。また、都心部におけるおもてなし緑化の見直し(市民・企業とのさらなる協働)を行う。